

社南スポーツ大会 城山登山 in2024

ちょこっと

ポイント解説



P1 START

古街道 南江守口



杉谷越坂平安古道（すぎたにごえざか へいあんこどう）の北側の入口です。地元の方々に伺ったところ、この地は古来より赤道（注）が存在し杉谷町へ抜ける道があったとのことです。

入口を背にして北のほう、兔越山・足羽山方面に一直線に結ぶように北國街道が通っていたとされる地点です。

（注）赤道（あかみち）とは

道路として利用されていた土地が道路としての機能を失い、番地のない無籍地となっている土地のことで、里道ともいう。赤道の多くは明治・大正時代まで細路地、農道、けもの道などとして用いられてきた道。赤道の全ては公用地である。

P1のちょっと先

夫婦岩 (めおといわ)



夫婦岩は二つの岩から木が生い茂り、お互いを支え合いながら、悠久の時の流れのなかで行きかう人々の生き様を見守ってきたであろう逞しい姿。

「力を合わせ、共に協力し合おう」と語りかけているようで、古街道復元プロジェクト会の象徴・シンボルになっています。



P2



峠のお地藏様



古街道復元活動当初のことです。古道の下見をする際に足元にお地藏様の胴体が見つかり、その周辺を探していくと祠のかけらも点々と見つかりました。しかし首は見つかりませんでした。お地藏様の首が無いのはもしかしたら明治初頭の廃仏毀釈（はいぶつきしゃく）でお地藏様の首とかが飛ばされたのかもしれない。



(参考) 城山コラム「②峠のお地藏様」

P2からP3までの途中

道標 (みちしるべ)



お地蔵様の下に置かれた石の道標には、

「左：合谷村 右：南江守村」とあります。

平安古道の杉谷町側からすぐのところであり、左は古道から西へ分岐して合谷町のほうに向かう地点です。

(補) お地蔵様が雨ざらしで忍びなかったので、今年4月に道標とともに囲いの小屋を設置しました。

P3-その1

古街道 合谷口



古街道の合谷町（ごうだにちょう）側の入口です。県道
延伸整備の影響で古道の元の位置から少し移動されてい
ます。

見通しがよくないので道路の横断にご注意ください。

P3-その2

合谷ルートゲート



**城山登山道の合谷（ごうだに）ルートの入口です。
入口ゲート入ってすぐから 108 段の急な登りが始まります。**

P3からP4までの途中

嶽尾根 (だけおね)



その昔この辺りではこの周辺を嶽山（だけやま）と称して、その尾根伝いに道があったとされるため嶽尾根（だけおね）と謳っています。

手入れされた植林の檜（ひのき）の林を通る気持ちの良い道が続きます。

（注）「嶽」は「丘」の旧字です。

P4



嶽展望 (だけてんぼう)



遠く白山をはじめ嶺北の山々がよく見えるスポットです。ここは朝、できれば日の出の時間がお勧めです。見おろすと下は杉谷町、裾野には旧北國街道が通ります。正面の田んぼの中央にポツンと「へび神社 (注)」の小さな祠 (ほこら) が見えます。

(注) 昔このあたりで白蛇を退治した男が翌日に死亡したことから、土地の人が蛇を祀る祠を建てたのが始まりだそうです。

P4からP5までの途中

嶽出合（だけであい）



**作業林道と城山登山道のわかれみちの所です。
左側の獣害対策の電気柵に注意してください。**

P5-その1



沢出合 (さわであい)



2つの沢がここで合流して、しゃくり滝に向かいます。付近は崩れやすく合谷ルート^⑪の難所の一つです。滝に降りる道はすれ違いもあり要注意です。

周辺には石垣跡のようなものが見えます。

▶ (参考) 城山コラム「^⑪城山の「城ヶ谷」」



P5-その2

隠し田の跡



江戸時代にはこの谷筋の上のほうに隠し田があったそうです。
こんなところで隠れてお米を作っていたとは！
昔の人の苦勞が偲べれます。

(補) 隠し田のことを生田目 (なばため) とよぶことがあります。
「なばる = 隠す」から生まれた言葉だそうです。

P6



しゃくり滝



その昔、泰澄大師がこの山で国の安泰を願い修行したと伝えられています。信心深い人がこの滝の水を飲むと病が治るが、志なき者が飲むと「しゃくり」が出るとの言い伝えもありました。(吹野寺略縁起) 社南側唯一の滝です。

(補) 滝については諸説あり、冬野町の猿田彦神社の近くに戦前まであった滝は残念ながら土砂崩れで無くなってしまったということです。



P7



炭焼き小屋跡



第2次大戦後しばらくまではここに小屋があり炭焼きがおこなわれていました。しかし残念ながらその後火災にて消失してしまい、取り壊されました。

P7からすぐ

カタクリ平



春先はこの平らな広場にカタクリの花がいっぱい咲きます。他にもありましたが、明らかに人工的な広場になりますね。その昔広場にはなにか建物などもあったのかもしれませんが。

(補) カタクリについては、清明側の杉谷ルートに登り口すぐのところにも群生地があります。

P8

いろは 15 坂



これから先は数年前に新たに切り開かれた登山道で、葛（つづら）折りに15の坂が連続しています。
頂上まで一気に登る合谷ルート最後の難所です。

頂上までもう少し!。頑張ってください。!

P9



城山頂上！



標高 202m。頂上からは福井の市街地や鯖江・武生方面の街並みのほか、すぐ東に文殊山、南に日野山、遠く嶺北の山々なども眺められます。

泰澄大師が修行を始めた越前町の越知山とその後大師によって開山された霊峰白山。両山を結ぶ線上にここ城山があります。またこの城山で歴代 3 番目に開かれたとされるお寺が「麓野寺（ふきのじ）」です。



▶ (参考) 城山コラム「⑥「麓野寺」の環境と歴史」

P10



道守の荘 (ちもりのしょう) 展望所



北方やや西の社南地区方面を一望できる展望所です。令和4年から新たに整備され案内板が設置されています。道守荘は1200年以上前の奈良時代に設置された東大寺の初期荘園（越前では最大規模）でした。

ここからは眼下に広がる壮大な眺めを堪能できます。自分の町や家が見えないでしょうか。



P10から**P11**までの途中

南居二之城跡



平安時代末、源平合戦で木曾義仲率いる源氏軍は今庄の燧が城（ひうちがじょう）の戦いに敗れ、義仲の家臣（横山某氏）がこの地に居城したと伝えられています。この場所は道守の荘展望と連続した比較的広く平らな地形となっており、籠城用の砦等の施設があったのかもしれませんが。

P11

南居展望所



令和5年から整備が始まった展望所です。西方の福井市や越前町の山々のほか、桜の木から見下ろすと日野川の流れや南居町が眼下に広がります。天気の良い日は西に沈む夕日がきれいです。

(補) 城山には暗くなってから夜に登られる方もいます。夜景もキレイだそうです。日中は暑い夏など経験者と一緒にチャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか。

P11からP12までの途中

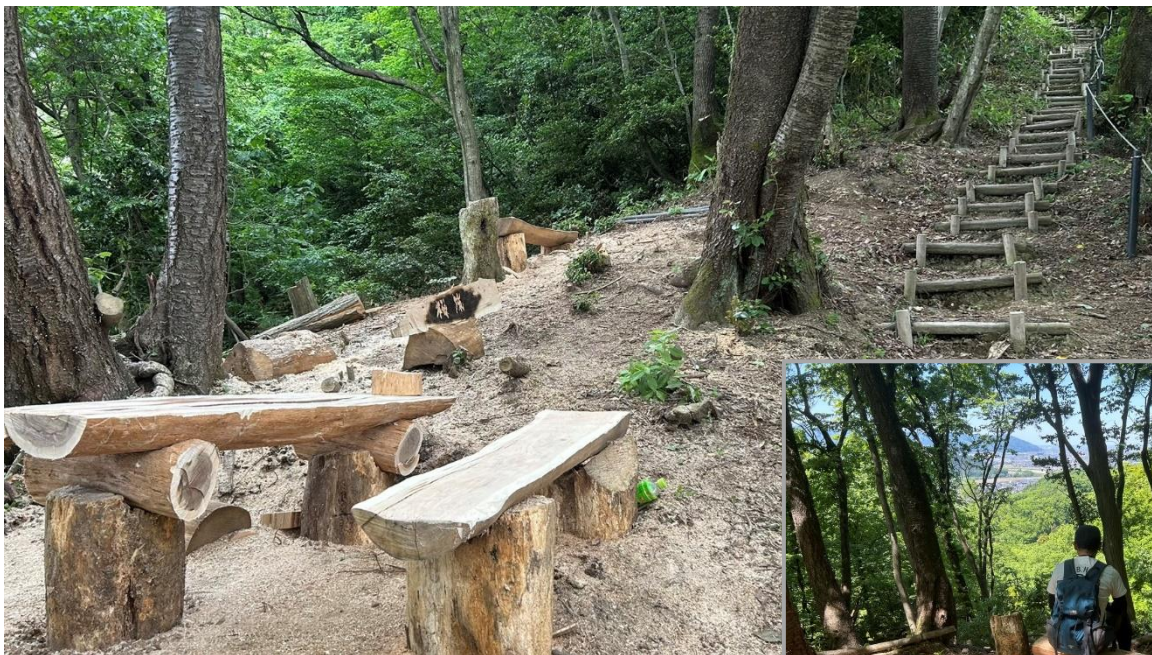
南居一之城跡



平安時代末、源平合戦で木曾義仲率いる源氏軍は今庄の燧が城（ひうちがじょう）の戦いに敗れ、義仲の家臣（横山某氏）がこの地に居城したと伝えられています。この場所は南居の村がよく見渡せる場所なので、西方の見張り場として使われたのかもしれない。

P12

桜床 (さくらどこ)



南居ルートの難所 365 段の長い階段の中間ぐらいに位置し、山桜の木が多く見られる場所です。

この春から眺望を良くしたり丸太のベンチやテーブルを設置したりして休憩所としての整備を進めています。（別名サクラテラス!?)

（補）ここに限らず南居ルートの長い尾根道沿いには大きな山桜が一定間隔で見られます。あるときに人工的に植えられたものかもしれません。ぜひ歩きながら探してみてください。

P13

天満神社分岐点



南居ルートの途中、天満神社へ下るルートと大会ゴールの集会場サザンへ下りる大己貴（おおなむち）神社ルートの分岐点です。

ちょうど作業林道とも交差しており五差路にもみえます。迷わないよう要注意です。

P14



大己貴神社 (おおなむちじんじゃ)



大己貴とは古事記では大国主神(おおくにぬしのかみ)の一名とされています。ここに合祀されている直野神社は、延喜式神名帳に記載されている式内社に比定されています。また「足羽社記略」(注)にその祭神は継体天皇の妃三尾君の神霊を奉祀したとする一説が挙げられているほか、「越前国惣神分」には「従四位 直野神」とあります。

(注) 足羽社記とは

足羽神社神主の足羽敬明による享保2年(1717)頃の著作で、祭神の継体天皇ゆかりの地名に考察を加えた地誌(地理書)。

P15 GOAL

南居町コミュニティ会館 サザン



登山大会のゴール、南居の集会場です。お疲れ様でした。

建物 1 階にはステージ付の大ホール、2 階には二間続きの和室や料理教室もできる広い調理スペースなどを備えた施設です。自治会会議の他、毎年秋には「ふれあい秋まつり」、年末には「年越しのそば打ち」などがおこなわれます。

登られる皆様の笑顔いっぱいの思い出と
なることを願いながら

城山の登山道を整備しています。



古街道復元プロジェクト会

社南・清明・麻生津の3地区の有志グループが集まり、
城山の登山道や里山の整備・維持に取り組んでいます。
昨年からは麻生津側からの新ルートを造成しています。

● ホームページは [こちら](#)

城山にまつわるエピソードなど

● 城山コラムは [こちら](#)

